# THE WOMAN'S WEEKLY

毎週金曜日發行

第貳巻第四號

（大正四年十一月四日第三種郵便物認可
大正五年一月二十一日発行）

# 婦人週報

主要目次

◎教師か記者か……小橋三四子
□目賀田逸子論　□健氣な少女……
◎幼稚園から小學校に　二名家
□熱海便り…斫雲　□梅……村岡藍伯
◎我國婦人の幼稚なる叫び　高野重三
□ポプラの決心　□子供の智慧……
◎淺草の六區改善されん……
□マリアテレサ　□今週の惣菜……
◎小說「何處へゆく」……松本雲舟

定価一部四銭五厘
郵送料五厘

婦人週報社



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

# 英語生徒募集

高等女學校卒業生に適當の各級あり
又年長者にして英語初歩より學ばれんとする者にも懇切に教授す。家庭的寄宿舍の設けあり
ピアノ個人教授の需めに應ず

本郷區彌生町三番地（電話下谷六八一五番）
英語專門 私立 櫻井女塾

御所御召
西陣御召

田中彌 御召店
日本橋區 日本銀行前

# 腦神經精神病

東京赤坂（帝國腦病院改）

# 青山腦病院

院長 ドクトル・メヂチーネ 齋藤紀一

電話芝 二七四五・二六六五

# ■最近の發明品■

◎姿を美しくする帶上げ止め（定價三十錢ヨリ）

生れつき姿の悪るい方でも帶を上手にしめると見違へる様に恰好よくなります誠に婦人の姿は帶の形ち一つで御上品にも「しだらしなく」もなりますが、さて帶を上手に締めると云ふ事も簡單の様で中々六ヶ敷で十中の八九は「おたいこ」が「だぶ」ついて見苦るしくなつて居ります之れはつまり帶上げが下がるからであります然るに本品を御使用遊ばさばどんなにしても帶上げの下がる事なく「おたいこ」の形ちも締めたまゝに「きちん」となつて常に後ろ姿が美くしく保たれます、のみならず帶上げを高く脊負ひ上げられますから一般に丈の低い日本婦人には帶から下が長く見えて好、脊中、帶の調和が誠によく姿が「ほつそり」見えます、又衛生上本品をお用になれば帶上げで胸を締めつけないでも済むから呼吸が自然で女子本來の呼吸（即ち胸式呼吸）を完全に營む事が出來ますつまり内臓（肺、心臓、胃等）の機能を十分に行ふ事が出來る理けであります、故に衛生上極めて理想的の品であります。

■販賣店■
三越呉服店
白木屋呉服店
松屋呉服店
松坂屋呉服店
大西白牡丹
小間物問屋 丸新商店
同 富士京商店
本社代理部店

# 京都染物

御誂御好に應じ御古物染直しにても御新らしき品同様美麗にいたし候
あらいはり、しみぬき、ゆのし、
右之通迅速を旨とし精々入念廉價に調進可仕候間多少に拘らず御用向被仰付度偏に奉願上候
宮内省初め女子大學校の御用を承り居候

東京市本郷區湯島新花町八番地（靈雲寺門前）
井筒屋支店 中村榮次郎

御注文の節に御一報被下候へは早速御伺可申候 電話下谷五六七四



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

## 目次


教師か記者か …………………… 小橋三四子
時事週評 ……………………
一人一評――目賀田逸子 ……………………
我が國婦人の幼稚なる叫び …………… 高野重三
幼稚園から小學校に ……………………
　啓發教育の破壞 …………… 久留島武彥
　媒介級の心持 …………… 佐々木吉三郎
梅 …………………… 村岡歷東
淺草の六區改善されん ……………………
健氣な少女――臺灣孤兒の保姆となる ……………
熱海だより ……………… 澤田斯雲
恰好をよく着付をする人の仕立方 …… 坂井ふさ子
今週の惣菜 ………… 櫻井うか子
オハナシ　ポプラの決心 ……… あづま
子供の智慧――鉛ハガキの樣だ、光つた銀貨、電車で火事が來る、上つても下つても ……………
世界名女傳――マリヤ、テレサ ……………
全譯「何處へゆく」（四） ………… 松本雲舟
時事 ……………………
編輯室より ……………………


# 教師か記者か

小橋三四子

△判斷がむづかしい

この頃中等教員の免許狀を持つて、或る女學校に重く用ひられて居る婦人が、某新聞社から記者に招聘されたに就て、自分の性格としては變化に富む記者生活を好ましく思ふが、今の地位を捨てゝ、これに赴かうかどうかと相談に參られました。私は過る十年雜誌社、新聞社に、記者として働らいたのが唯一の經驗なので、其の內情を委しく見知り、苦勞をも重ねて來て居る丈けに、容易に判斷がつきかねました。

△記者と世間の待遇

私はかう申しました。あなたが今の肩書きで、學校なり、家庭なりを訪問なされば、何れの校長も奧樣も喜んで迎へ、打解けてお話し下さいませう。もし記者の肩書きをお持ちになれば、何れへ行つても窮窟に閉ぢやうとする門を無理に潜つて、門番に迄幾度か頭を下げて入らなければならない。偶々歡待されても、所謂恐持てゝ、温かい眞情に接する折が少いかも知れません。そしてその折尠なからず侮辱を感ずるかも知れません。

△働らきの相違

記者生活には夏冬の休みもなければ、夜晝の隔てもありません。役所や學校ならば、もうそろ／＼退けに近い頃から働らき始めて、九時十時はをろか時には人の甘い夢を貪る眞夜中が、活動の最中になる事も珍らしくはありません。私には肩書きがあると云つても、何の利目も無く、爲る丈けの仕事をしなければ、明日の新聞は白紙で出さねばならぬといふ事になります。また教師ならば、十年二十年と勤續すれば年と共に重く用ひられ、年功加俸なども出來て行くかも知れませんが、記者は勤續よりも頭腦の敏活さ清新さを尊びます。從つて年數と共に其の勢力の反比例して行く事が無いとも限りません。

△記者生活の特權

かう申せば記者生活はいかにも慘めなものと思ふかも知れませぬが、他の側面から觀察すれば、肩書きや、年功や、階級を超越して、純粹のわが實力、わが自由を以て、幾多の輿論を支配して行くこ



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

とが出來る所謂無冠の覇王であります。もしこの權利と自由とを濫用することなく、公平にしかも熱烈にその職務を盡して行つたならば、その結果は思ひ半ばに過ぐるものがありませう。そしてその働らきの野は、他の方面に比較して男子と女子とを甚だしく隔つる因襲は割合に少い丈けに、私共は珍らしい、面白い經驗をする事が出來ます。

△何れの分銅が下るか

かやうに得失を並べた終りに付け加へた事は、新らしい道を啓く困難を面白いと思ふのでなければ、寧ろ特權を持ち經驗を積んだ教師に止つて、其處に改善進歩をお樂しみなさいと申しました。婦人の高尙な職業として最も古くから許されて居つたのは、教師であります。從つて其處にはもはや立派な秩序があつて、堂々と通行する事が出來ます。婦人記者はなほ多くの識者の間にさへ認められぬ婦人の新職業であります。これに赴く人は創業の辛苦を嘗めて道無き處に道を開いて行かねばなりません。然し私共婦人の希望は、この種の同志が增し加はつて始めて望まれるのであります。こゝ迄申して教師か記者か、あなたの分銅は果して何れが下りませうかとその方の決斷を待ちました。

# 時事週評

▲光榮ある詠進歌　宮中歌御會始に於て入選の光榮に浴した詠進者が六名ありました。數年に渡る諒闇のため暫らくこの事が絕えて居りましたが、今茲に即位式擧行の翌春にこの優美な御會の開かれた事はいかにも嬉しい感がいたします。六名の入選者の中、二人は婦人であります事も婦人のために氣を吐くことと存じます。歌と女性とが不離の關係のある事は日本古來よりの習慣でありますが、今後も歌に依つて女性の情緒が淸く潤澤されることを切望いたします。男も女もあまり散文的になる事は其の情緒を枯らす怖れがあります。

▲支那の帝制不承認　袁の登位も中々難澁のやうであります。日本が周特使の來朝延期を告げたのも、日本がいかに支那帝制に反對であるかを語るものですが、袁はかういふ反對にも係らず、帝位に登るや否や、近來の見物であります。昔ワシントンは米國第一期の大統領として光風霽月の心を持つてゐたにもかゝはらず、或る時には帝位に即かしめやうといふ運動が盛んでした。斯く運動は人民自然の聲といつてよいのです。ワシントンは勿論斯る聲に耳を貸しませんでしたが今袁氏がワシントン位の淸い高い志があつて仁政を施すとすれば、帝位に即くのはいと易い事でありませう。仁政をもなさずして帝位に即かうとすれば、從つて諸外國へくだらぬ氣がね苦勞をなす必要が出て來るのです。人民が袁氏を皇帝に推戴せずんば止まざる要求をなすまで何故待つ事が出來ぬでせう。人民に斯る要求さへあれば、諸外國の承認などは眼中におく必要はありますまい。

▲西洋婦人の意氣　一人の西洋の婦人が淺草六區の醜業窟を視察して其の弊害に驚き早速其の改善を計畫してゐる事は本號に載せた通りでありますが、西洋婦人には心に思ひ立てば、直ぐ之を實行する勇氣があるが、日本婦人は心に想ふだけで中々之れを實行に現はしません、これは兩者の相違でありませう。


Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

## （一人一評）

# 目賀田逸子

▲或る人が目賀田家を訪づれて「御免なさい」と聲をかけても、應ずる音がしないので、尚も大きく「御免なさい」といふと、近くの中天から「ハアイー」といふ返事があつた。振り向いて上を見ると、向ふの高い樹に夫人が登つてゐられたのである。「女の木登り、見たことない」といふ俚諺もある如く、容易に見られぬ現象を目賀田男爵夫人逸子さんに之れを見る次第である。それほど逸子さんは奇拔な飄逸な性格を持つてゐられる。斯る點だけでも勝海舟の愛孃たるに恥ざる次第である。

▲逸子さんは旅行好きを以て有名である。女子富士登山會の先達として世に知られてゐる。少し奇麗な衣物を着て夫人を訪づれる婦人があると、「ばかに奇麗な裝をしてゐるではないか、その衣物は幾ら位ゐかゝるの」と來る。「いくら／＼です」と答へると、夫人は眼を丸くして、「まあ、私なら、それだけの金で旅行をするがな」と答へられる。それほど夫人は質素な方であると同時に、旅行癖を持つてゐられる。

▲旅行癖と同時に夫人の特徴は、慈善癖であらう。慈善もいや／＼でやつては面白くない。それが一種の癖となり、道樂となつて、初めてそこに面白味が感せられる。義務といふ文字はあまり堅苦しくつて、其處に何等の興味もないやうであるが、決してさうではあるまい。忠孝といふやうな義務でも、言ふにいはれぬ面白味がなくてはかなはぬ。いや／＼仕方なしでやるやうでは、眞實の忠孝ではない。慈善にした所で、呉れてやつた金をいつまでも覺えてゐて、時々夢に見るやうでは面白くない。そこに美妙な興味が湧然として生ずるやうでなくては、慈善の三昧に入つたのではない。逸子さんは其點に於て申し分のない慈善家である。慈善をなすために零砕の金を貯へられる其の苦心談は曾て本誌に紹介した事がある。

▲今日の男女は口では甘いことを云ふがその眞情は五割、七割引き位に見て差支へない。逸子さんは心に泣いて居ても、口には時に憎まれ口を利くと云つた風でその好意を實行する迄は、素振りにも見せぬ方である。從つて近寄れば寄る程清節人を慕はしむるものがある。或る英國人が夫人を評して「目賀田さんはほんとうのハイカラです」と云はれたが、また一方夫人に於てほんとうの武士的魂の最後の遺物を見ることが出來る。

▲然も逸子さんは家庭にありては、良き妻であり、賢い母である。令孃達を教育なさるにも、一種獨得の教育法を用ゐられたらしい。されば其の令孃達は皆其の母に似て面白い性格を持つてゐられるので、他の家庭に嫁いで、其處に清い純白な光彩を放つて居られる。

三



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

# 我が國婦人の幼稚なる叫び

高野重三

**△誤解されたる婦人問題**

明治初年に於ける所謂新進の青年が、在來の文物制度慣習に飽足らず、極端な突飛な狂人染みた言動を敢てした時には當時の老成人は危險とも思ひ滑稽とも感じたに違ひない。けれども物事は兎角極端に流れ易いものである。其例に漏れず、日本の婦人問題なども、唯々、女は男と同等だと云ふ單純な思想から、男が五色の酒を呑むならば女も呑むべし、男が遊廓へ行くならば女も吉原をひやかす位差支無し、と云ふ樣な連中が新らしい女だと思はれた事もある。之はH本に限らず歐洲でもあつた事で、最も極端な婦人になると髮を斬つて、男の如うなヅボンを穿いて得意になつてゐたものであつた。此の上調子な履き違ひの新らしい女を、新聞や雜誌などが、面白半分に書き立てたので婦人問題と云ふものが不眞面目なものと誤解された。それで世の識者ともあるものは之を齒せぬと云ふ傾きがあつたので、眞面目に此問題を研究し主張せんとする人々は甚だ迷惑であり、不便を感ずるに至つたのであるが、今日吾國に於て此問題の眞面目な論客が、私の知つてゐる範圍でも、可成りあるのは喜ばしい事である。

**△歐米の新しき婦人**

歐米各國では、初めジョン・スチュアート・ミルやオーギスト・ベーベルなどを始めとして、男子の方が此問題に熱中もし、深く研究もしたのであるが、今日では婦人自ら覺醒して言論に實際に、此爲めに身命を捧げてゐる多くの婦人を見るに至つた。即ち婦人問題の著者としては、瑞典のエレン・ケイ、阿弗利加のオリブ・シユライネルなど吾國にもよく知られてゐるが、更に亞米利加には婦人の經

四

濟食量問題から之を論ずる、世界的に有名なギルマン女史あり、墺地利には哲學的に論證するローザー・マイレデル女史あり、曾てミルやベーベルの如き男子に依つて叫ばれた此問題が、今は婦人自らの物した多くの著書を生み出すに至つたのである。

**△婦人の政治運動**

若し夫れ、政治運動などに至ると、米國あたりでは有名な婦人は殆んど之に加つてゐる。日本の津田梅子女史、内田康哉子夫人などが學ばれたプリンマー女子大學の學長たるトーマス女史の如きは最も熱心な婦人參政論者である。英吉利ではフオーセット夫人の如き何十萬と云ふ婦人の團體に主領として此運動を爲し、またパンカースト母娘の如き最も劇烈な運動をしたのであるが、今は戰爭の爲め、其鋭鋒を納めて、專ら國家の爲め男子と同等の働きを爲しつゝある。私は大亂平定後間もなく英國に婦人參政の實現するのを疑はぬものである。

**△四五十年遲れてゐる**

かく歐米の婦人は表面に立つて此問題を論議し運動してゐるが、日本の婦人は



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

何うであるか。殆んど全く其事を見ぬのである。而して男子の婦人論者も亦少數である。其少數なる男子の婦人論者が叫ぶ處は何なるかと言へば、婦人參政にあらず、婦人職業にもあらず、更に明治初年政府に依つて開かれた女子の高等教育に就てすら、一大問題として論議研究されるにも至らぬのである。婦人よ覺醒せよ！只之れ丈の叫びである。具體的に、時事問題をとらへて論するまでには進んでゐない。吾國の新しき女の先輩なりと自任する青鞜社一派の人々も、唯、內省せよ自覺せよとのみで、其を如何にすべきかを說く事向明らかではない。甚だしきに至ると平塚らいてう女史の如きさへ婦人の職業には不贊成だと云ふ。斯の如く日本現在の婦人問題は、之を歐米のそれと比べれば僅かに四五十年は遲れてゐる。唯第一步を踏み出したに過ぎないのである。

### △女子大學の研究會

然し乍ら、此儘で止むべきではない。前述の如く一部の有志家が眞面目に研究してゐる外に、未だ世間には發表されて居らぬが、最近帝大、早大、慶大などの教授中有志家四五十名が集つて、各專門の立場より、婦人問題を研究しやうと云ふ企があり、既に其第一回會合を本月廿二日女子大學に開催する手筈になつてゐる。此等は邦家の爲め誠に慶賀すべき事である。此上は何うか、男子の教授連にのみ此研究を委せず、婦人連中が盛んに此論議を上下するに至らん事を望むのである。前述の如く、婦人問題は必ずしも婦人のみの問題ではなく、男女關係、人類すべての問題であるのだが、苟くも婦人問題と云ふ以上、婦人自ら覺醒奮起して、自分等の同胞姉妹の現在の幸福安寧、及び將來の運命等について、眞面目に研究もされ、運動も起されねばならぬと思ふのである。

### △婦人の奮勵を促す

昨年の暮、米國の金持ちで新聞記者をしてゐるシエルコフ女史が來朝した砌、日本の新らしき婦人達に會ひたいと云ふ希望から、帝國ホテルに、女優だの婦人の記者だのを招いて一つの會合を催された事がある。私はかゝる會合は決して惡い事ではなく、機會ある每に開催されるのを希望するものであるけれども、當時の新聞紙上に現はれた處丈で見ると、如何にも薄ペラな、上ッ調子な氣分がたゞよつてゐたやうに想像されるのであつたが、眞の新らしい婦人だとか、婦人問題だとか云ふものは、もつと眞面目な、且つ深みのあるものであると思ふ。之を要するに、層一層、我國婦人の奮勵を希望されるのである。

### □

一記者

高野さんが我國に於ける婦人問題研究家として、大いに重きを爲してゐる事は、讀者の既に知られてゐる處であらう。『私は學者でも何んでもない、深川の油屋のおやぢです』と自ら言はれてゐる通り、氏の書齋兼客間兼事務室でお目にかゝると、圓滿な商人とよりは見えないけれど、一度口を開くや、廣く深い婦人問題についての知識を以て、隨分突込んだ意見を吐かれる。學者か然らざれば俗人と、融通の利かぬものが多い我國に氏の如く算盤をにぎり乍ら、婦人問題と云ふ大きな問題を眞面目に研究してゐられる人を見るのは、誠に珍らしい而して喜ばしい事である。氏は近來吾國でも婦人問題が可成り眞面目に研究される樣になつたのを喜んで居られた。一昨年の秋頃から歐洲大戰の影響が次第に下火になつて來た吾國の婦人論も昨年中、一寸引潮と云ふ形であつたが、又昨年暮頃から火の手が上つて來たやうだから、今年は定めし吾國の婦人問題に一進境を見る事が出來るであらうと云ふ樣な意味の事も云つてゐられた。





Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

# 幼稚園から小學校に

兩者とり〲の主張と
其の聯絡をとるに就て

## 啓發教育の破壞

早稲田幼稚園主　久留島武彦

△小學校の豫備教育に非ず

私は少なくとも自己の幼稚園の保育方針は、決して小學校の豫備教育では無いと思つて居ります。現代の小學教育、社會の缺陷、及び家庭の不足を補つて、一生涯を通じての靈肉兩面の發育を充分ならしむる基礎であると思つて居ります。唯學校に入れる爲めの豫備教育であるならば、幼兒保育にさまで苦しむ必要はありません。

△迷子のやうな生活

現代は家庭の衰微時代である。今日の家庭に本當の家庭意識がどれ程あるでせうか。主婦の語は盛に用ひられて居りますが、臺所に於てだけの主婦となり、或は具體的、物質的の主婦であつて尚ほ眞の主婦たる意義が認められず、幼兒の保育等に至つては殆ど、其の中心點を失つて幼兒は或る時は父に、或る時は母に、又或る時は下女下男に依つて育てられ、人格教育等に就ては、父母と老父母との手段方針が異つて居る爲に、子供は何處に據るのが最も安全であるかと、常に一種の不安を抱いて迷子の様な生活を續けて居るのです。かくして中流以下の家庭の幼兒の爲めに建設せられた幼稚園は、反つて上流社會の幼兒の爲めに必要缺くべからざるものとなつた事は家庭及び社會の不完全なる所以でありまして、社會の一員として正しき歩行を取らせ、その

六

大なる缺陷を補ふ爲めには何等かの機關が無くてはならないと思ひます。幼稚園は即ちその機關でありたいと思ひます。換言すれば人間一生の豫備教育でありたいと申すのです。

△保姆の信用を高めよ

かゝる目的を以つて天來の善良なる本能を何處迄も啓發的に教育して參りますが、幼稚園の保育方針が一度小學校に入れば忽ちにして破壞せられるといふ事は實に遺憾に堪へ無い事ではありますが、今日の制度では止むを得ない事であるかも知れません。而し米國等にては幼兒本意の保育的形式を土臺として、小學校教育を施し、構成能力を發揮させるやうに勉めて非常なる効果を收めて居りますから我國に於ても或る程度迄其の方法を採用して試みて貰ひ度いと思ひます。そして、幼稚園の組織を認め、保姆に對する信用を高め、せめて小學校の一二年位迄は保姆もしくは其の經驗ある者が擔任して教育することが出來たならば、多少其の聯絡を持續させて行く事が出來ると思ひます。



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

# 媒介級の心持

東京高等師範學校敎授
同附屬小學校主事 佐々木吉三郎

### △小學初年級の敎育

幼稚園が子供の性情を素として、なるべく子供等の自然生活に追從して、保育を加へてゆくと云ふ立場から、唱歌も遊戲も其の他色々の手工もやつて居り、又その保育の仕方に就ても餘り八釜敷く時間割なぞを定めないで、短時間を變化して敎へてゆくと云ふ仕方に對して、小學校の初年級に於ける實際を見ると—勿論よく注意してゐる學校もあるが—平均して見た處、多少の缺憾がないではなからうと思ふ。

### △手工、圖畫、唱歌

例へば幼稚園では恩物を初めとして、色々な手細工なぞを課してゐるのに、小學校では幼年兒童に此の類の玩具もなければ、又手工も課せぬと云ふ學校も隨分ある。圖畫にしても幼年級には殆んど之を課してゐない小學校もあり、唱歌は大抵の學校で課してゐるが之も幼稚園に比べて見れば其やり方が餘程異なつてゐると思ふ。又一時間の長さも、注意してゐる小學校だと、最初の一二ヶ月間は、ずつと短かくして、三十分位に止め、大抵三時限位で學校を退かす樣に注意してゐるが、合級敎授とか單級敎授とか單式多級の學校では、四十五分、五十分と云ふ長い時間を同一課業に從事させる樣な事もある。

### △今日の法令と敎師

大體、子供が幼稚園から初めて小學校に登つた時には、大分生活の狀態が異つて來たと云ふ樣な感じを起させる事はあると思ふ。之は今日の法令も一部の原因をなして居り、又實際敎育に當る敎育者の考も其半の原因をなしてゐると思ふ。我附屬小學校の如きは、必ずしも幼稚園から來た子供に調子を合せると云ふ爲めではないが、大凡初めて學校生活に入ると云ふ子供については、よく其子供の從來の習慣を顧慮して、なるべく不自然でない指導法を取らうと思つて、前に述べた樣な學課も成るべく幼年兒童には之を課する樣にしてゐる。一時限も大抵卅分內外にして早く學校の仕事を切上げる樣にして居るのである。

### △小學一年生の體格

以前は入學の初期に於ける兒童の身體の狀況を、標準體格と比べて見て置いて、それを二年生の初期に於けるものと比較してみると、最初の一ケ年は子供の身體上の發達が鈍つてゐて、二年生の初期にも其割合が入學頭初よりは惡くなると云ふ事が、數年間統計に表はれたものである。それが三年生四年生となると、又、率が良くなるのを以て見れば、入學頭初の一ケ年間は何か子供が學校生活に慣れない爲めに、身體の發達が阻害されるのであるか、それとも學校の設備などが不充分な爲めに家庭や幼稚園に於ける程





Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

身體上の世話が屆かぬのであるか、兎も角も遺憾なる事實であると思つて、近年は體育に特に注意して課業や何かは前に述べた樣な仕方でやつて居る。

△此用意が必要

其結果は極めて良好であつて、以前の如く一年級の間に發育が鈍ると云ふ樣な事は認めなくなつて來たのである。其故に何處の小學でも幼年兒童の取扱と云ふものは比較的叮重に考慮してゐるものではあるが、猶充分に工夫して、家庭や幼稚園などから來た子供に、餘り甚しい不思議な生活をさせられる樣に感せしめない用意が必要であると思ふ。

△幼稚園への注文

同時に又幼稚園の方でも保育の方法を漸く改良し、例へば三年間幼稚園に居らせるならば最も初の一年は全く物を敎へないで、自由な天地に逍遙させて危險のない樣に加護をして居ると云ふ程度に止め、二年目には多少の約束を加へて初めて出來る程度の仕事を入れ、三年目には多少秩序立つて生活をさせると云ふ樣に幼稚園自身が子供の發達階段に應じて餘程手心を加へてやつてもらつたならば、小學敎育との連絡上からも一層都合がよいかと思はれる。

△媒介級—法令改良

西洋では小學校と幼稚園との間に過渡の時代の學校がある。媒介級など稱へられてゐるが、それは必ずしも眞似ねばならぬとは思はぬけれども、小學校での一年生の、特に第一學期など云ふ處、又幼稚園の保育の最後の一二學期の處が、其のつもりでよく調和させる樣にしなければなるまいと思ふ。また前にも述べた通り日本の法令が兩方の聯絡を自然ならしむる樣に出來て居ないと思ふのであるから、此點は兩方に關係してゐる實際家の意見を徵して是非改良をして貰ひたいものと思ふ。

八

## □乘つた時と降りた時□

(1) 電車へ乘る前　結立ての髮を後生大事に恐る〱電車に乘る。

(2) 電車の中　瞬く間に釣革に叩かれ、二重マワシの羽に拂はれ、散々苛まれて折角の髮もぐらついてしまう。

(3) 電車を下りた時　丸髷は根が落ち、思ひきつて張つた鬢に散亂。アヽもう一生涯電車なんか乘らないことよと恨めしさうに見送る。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

# 梅

村岡應東畫伯談

### △我が愛者

梅は私のラヴアーです。而し肉感的のものでなく、神秘的の、そして崇高なる意味に於て、常に愛するもの、一つに數へて居ります。啻に私ばかりで無く私の祖先には梅を愛した人が餘程多く居りました。父の梅隱と云ふ雅號も、私の梅明と申す別號も、皆梅を愛した處から來て居るのです。

### △月夜の伊賀越え

毎年探梅はよく致して居りますが、只今迄最も興味深く感せられて居りますのは、月が瀨に參ゐりました時の事です。友人と二人連で伊賀の上野に着きましたのは黃昏時で、まだ月が瀨迄は三里の里程がありますから、お腹もこしらへ足仕度も調へます爲めに、とある饂飩屋へ這入りました處、計らずも五六人の小學教員らしい道連れを得たのです。丁度幸と仕度を急いで居ります間に、其の一行は私共より一と足先きに其處を立ちました。見失つてはと後を追つて私共も參ゐりましたが、どうした事か影も形も見えません。此處は名に負ふ伊賀越えです。折からの名月は隈無くさえ渡つて、水の流れさへ何となく物淋しげに昔を忍ばせて居りますのに、嚴めしい足仕度で案內者を見出さうとして、あせつて後を追ひましたのは、其の昔荒木又右衛門が仇を逃すまいと、必死になつて追跡した時の様に似てゐると思ひながら、恰も劇中の人物の様な感で急ぎました。而し遂々其の人達と一所になることは出來ませんでした。

### △金　風　呂

寄處なく土地の人に敎へらる、まゝに幾町かの田畑を横切つて、梅の古木の唯一本ある、一軒の鄙びた宿に着きました。時といひ處と云ひ、ふさわしい感がされました。東京からの客來といふので先づ風呂をすゝめられたのです。見れば庭の中央にある戸棚の様な、四尺四方ばかりの物がそれだと申しますので、參ゐりますと金風呂なのです、危く野弍喜三の二代目を演ずる處でした。

### △書中の翁

翌日は處々を散策して、興の限りを盡しましたが、一つ未だに忘れる事の出來ないのは、月瀨徽章を賣つて居た爺さんです。革の袴に鞋を穿いて、粗朶を焚いて湯を沸して居る恰好は、まるで蕪村の描いた人物が、拔け出したのでは無いかと思はるゝ程、古雅な詩的な感がされました。

### △梅と外郎

これは小田原に參ゐりました時の事ですが、外郎といふ看板がありましたもので、私が常に三條の駿河屋から取つて居る白外郎（菓子）の積りで、友人が買ひました處がどうも嵩さが非常に少ないやうですから開いて見ますと、菓子でなくて藥だつたので、驚いたり又笑つたりした事がありました。それから梅と外郎とはいつも連續的に記憶から離れないものとなつて居ます。

九



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

# 淺草六區改善されん

## 青年を思ふ米國婦人の熱誠なる企てと其運動

△地方の學校を巡る

年中不景氣なしと云はれて居る淺草觀音の境内に、この正月に入つてから數日續けて一西洋婦人が人込みに交つて、二三の日本婦人の助けを藉りては、終日飽かずに小冊子を配つて居りました。餘り熱心な樣子に惹き付けられて、通行る程の人は皆その冊子を貰つて行くのでした。この西洋婦人は神田駿河臺に二十七年間も人知れず傳道に盡して居られたミス、クラゲットと申す方で、昨年日本の青年の爲め何等か盡したいとの願ひから、先づ全國の青年の狀態視察の目的にて、文部省の照會を受け、先づ信州、新潟、富山、山形等を巡つて、女學校中學校を訪づれて見ますと、校長等が口を揃えて女史に打ち明けられた一事がありました。

△東京は蓬萊の里か

それは片田舍に生ひ立つ青年は、何れも東京程よい所は無い樣に思ひ、學事中途にして故郷を飛び出す者が尠くない、それ等の人々が都に上り何を爲すかと云へば、先づ淺草に行つて懷の溫かい間は遊び暮すのであります。男はこの時面白からぬ誘惑に會ひます。女は忌はしい働きをさせられて、不淨の寶を握り、國に歸つては「東京に行つてお金を儲けて來た」と云つては見せびらかします。それとは知らぬ地方人は、益々東京といふ所を蓬萊の里のやうに思つて終ひ、上京熱を高めるのであります。これ等は心ある方の盡力によつて是非改善したい事であると話されました。

△小冊子の行衛

クラゲット女史は帰京早々淺草に行つて見ました。成る程幾百の地方人は終日潮の如くに押し寄せて來ます。翌日は小冊子を携へてこれ等の人々に配り始めると、日々、夥しい數が出ますが、これを手にした人々は何れも姿が消えて見えなくなります。果して何處に吸ひ込まれるのでありませうかと不思議に思ひ、よく〱調らべて見ると所謂淺草六區に流れて行くのでありました。

△六區の探險

そこで再び女史はその筋の力を藉りて六區の探險を始めました。あの人込みの見世物小屋の橫丁を入つて驚いた事は、公然と罪惡が行はれて居るばかりか、年若き青年や、甚だしきは子供等迄が平氣で此處を通つては、その罪惡の暗い蔭を柔かい頭に投げ込んで行くことであります。聞く處によると此處に稼ぎする女は殆ど數千に上り、その中四百は有夫の女であると申します。「四百の有夫の女！私は通譯の言葉を聞き違へたのではないかと後に警察に行つて調らべて見ましたが、これは事實でありました」と女史は語られました。

△改善の計畫

この狀態を調らべた女史は、一刻も躊



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

踏することなく、これが改善策を講じ始めました。清い遊覽場、善い活動寫眞館等を是非設けて、卑しい娯樂や、有害の見世物から幾分宛なりとも心を轉せしめねばならぬ、たとへ今はその資力がなくとも必ず與へらるゝことゝ信じて、この計畫を齎らして、最先きに奥田市長をお訪ねしました。市長はその始終に耳を傾けて必ずその働らきに便宜を與へる旨を誓はれ、次で警視總監その他社會改良に志ある名士を訪づれて、その意見を徴し、遠からず何等かの形ちで、その働らきが現はれませうが、女史は昨今頻りに日本の婦人界の同志の覺醒を促して居られます。

## 横に見るのが自然

過る十五日向軍治氏の會長をして居られる麻布青年會でお話をせられた矢島揖子女史は「此の頃眼が惡くなつて、細かい字は虫眼鏡で見ますが、縦に見るといかにも疲れるので、本を横にして右から左にと見ます。私共の眼は横に付いて居るのですから、横に見るのが自然で、それにつけても縦に見る文字は廢して、横にローマ字で書くやうにしたらばと思ひます」と、青年達ちに文字の改善を鼓吹せられました。

# 健氣な少女

## 臺灣に渡り孤兒の間に身を投ず

### △一家悉く孤兒の友

今から十二年前腰越の醫師を止めて、鎌倉に保育園を設け、以來數多の孤兒を我が子同樣に養育せられて居る特志の夫妻があります。佐竹音次郎氏(五十二)同タマ子(十四)と申すのがそれであります。家に三女がありますが、皆孤兒と同樣に教養せられ、長女さと子は今年廿一歳で、昨年夫君を迎へて、今は旅順の支部に鎌倉の成長園兒を引取つて開墾事業をして居られます。次女のぶ子(十九)は鎌倉保育園の保姆として、專ら父母を助けてその中堅になつて居られます。

### △金で買はれる臺灣の孤兒

今回臺灣に同樣の保育院設立の必要を思ひ立たれ、佐竹氏夫妻は相携へて、渡臺し、目下その準備に奔走中でありますが、此處の主任保姆となられるのは、同家三女のハナ子と申され、明けて十七歳のうら若き少女で、世の常ならばリボンよ簪よと甘き夢を貪つて居る年頃であります。同女は曩きに父君に伴れられて渡臺し、父母に離れた土人の兒童等が、金で賣買せられて居るのを見て、「この子等が人並に生ひ立つても、牛馬と同じく、一生追ひ遣はれる迄である。人と生れて父母の愛を知らぬ程不幸の事はあるまいに、その上に終生自由の味を知らずに過すのである」と熟々不憫に思はれましたのでした。

### △少女保姆の主任となる

父君が臺北に保育園設立の擧を企つるや、進んでその保姆とならんことを乞ふに至りました。さてこそ父母もその志をめでゝ、この困難な事業の創めを一任するに至つたのであります。ハナ子は目下父母と共に臺灣にあり、熱心に土人の言葉を勉强して居られるさうですが、その殊勝な志は、やがて全土に薫り、哀れなる子等のこよなき賴るべとなるでありませう。

十一



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

# 熱海便り

（余が養生法のつゞき）

薄田斬雲

△ぶらんこの苦い經驗

船や車に搖られて眩暈する事の理論は私にわからないが、私は船や車には大の弱虫だ。

船車にようと云ふ氣持を感じた事の最初はぶらんこ乗りであつた。敢て乗る氣でもなくぶらんこに腰かけて居ると、大勢の惡太郎共が私を乗せた儘ぶらんこをぐる〵捲いて急に手を放したから私は烈しい廻轉を七ッ八ッ感じて忽ち眩暈を起し嘔吐を催して一時間ばかり苦しい思ひをした。

△田舎のがた馬車

次には田舎のがた馬車で一度ひどい目に遭つた。郷里に居る時十里の路を海岸地迄遊びに行つた。往きは馬車で快い氣持で無事安着、しかも十二三歳頃の一人旅び、處が復りは他家のお娵さんに連れられて大に氣丈夫であつたが、どうしたものか同じ馬車でしたゝかやられた、嘔吐何回となく大變な苦み。

△熱海の輕便鐵道

其後煙草をたつた一吸ひして一時間ばかり必死の苦しい思ひをした事もある。旅行は面白いものだが、船、車に弱くては興味も大半減ずる。で私は自分丈けの旅行養生法を書き立てゝ見る、此度び雲舟君其他六七人で熱海へ旅行したが、何れも剛の者で、國府津から船で行くと云ふ、私は單獨陸路、例の熱海輕便鐵道と云ふ危險極まるものに乗つて居た。之はがた馬車よりは餘程上等だが、田舎の乗合自働車などよりも氣持が惡い。加ふるに、車中は滿員で、私は二時間立往生だ。其中私の左右に腰かけて居る婦人が兩方共に眩暈を起して嘔吐頻々、私もむか〵となつて吐くかと思つた。

△玄海灘を無事で通過

熱海へ着いて見ると、船で行つた連中は半時間早く着いて、大威張り、處が歸途は何れも船を厭ふ氣色で皆な陸路を取つた。疊の上の樣な海上でも矢張り船は車より氣持が惡いのと見える。私の如き

十二

胃腸の惡い者は到底船は駄目なので、いくら勉強しても駄目なのだと云ふから成る丈け船へは乗らない方針だ。夫れでも朝鮮へ行つた時は玄海洋を往復共無事安着したから不思議だ。朝鮮からの歸りは前日汽車でやられて釜山迄乗り通せずに三浪津で一泊した。處が翌日は玄海を船で無事に通過した。よう、よはぬは其日の身體具合次第で、豫め保證が出來ない。

▲眩暈の豫防法如何

船へ乗つたら甲板を歩めと云ふが、之は最後迄歩き通せるものでない、私の經驗では、六分目に食事して大分腹が空き具合になる頃船へ乗る、そして極端に空腹にならぬ樣少しつゝ物を食ふ。そして平臥して身を動かさない事。之が一番安全だ。若し吐いたなら一合位水を飲む又吐いたら又水を飲む、然うすると、膽汁や血を吐く樣な事はない、胃が洗滌されて快い氣持になる。車の塲合も、乗る前に食はずに、乗つてから少しづゝ食ふ樣にするさ、身體が馴れて、樂になる。些と變な氣持になつたら、直ぐ下車して一汽車後れる事が一番安全だ。



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

# 恰好をよく着付をする人の仕立方の注意

坂井ふさ子

衿元が頸に窓付くのは、誠にみつともないものです。これは仕立の際、衿を脊縫ひの處で二分乃至五分くつて付けると恰好がよくなります。

襦袢の衿はたつぷり出た方が見榮えがありますが、普通の仕立ではいくら引張つて出しても、間も無く引込んで終うものです。これは襦袢を仕立てる際、前の上げを脇丈け摘んで、襟を付ける方は延ばして置きます。そうするさ一寸の上げならば、二寸のたるみが出來る筈です。着付けの際前を合せて、紐を締め、きゆつと胸先きを引き出しますと、丁度たるみが恰好をつけてくれます。勿論襟は脊縫ひの處で着物と同じく二分乃至五分くるのです。

身八つは普通二寸五分明けますが、着付けをよくする方は四寸位お明けになります。かうすると樂に手を入れて、後ろ恰好を作ることが出來ます。

羽織は前巾で恰好をとります。普通は前巾が五寸ですが、肥滿つた方は男物と同じく五寸三分位にすると前が合はさり加減になつて恰好よく見えます。

# 今週の惣菜

櫻井ちか子

□**獨活と若布のぬた**（四人前七錢位）若布を水に浸して砂をよく洗ひ落し、硬いところを取り去つて細かに切つて置きます。獨活は皮を剝き、薄く短冊に切り水に浸けてあくを拔きます。暫らくして笊に揚げて水を切り、若布さ一所に酢味噌の中に交ぜます。酢味噌は味噌をよく摺つて砂糖を加へ、酢でごろ〳〵になる位に溶くのです。

□**八つ頭と半ペンの甘煮**（四人前十五錢位）八つ頭を厚く皮を剝き、適宜に切り、微溫湯に入れて茹でます。それから水洗ひをして再び鍋に入れ、箸を敷ふ位の水に砂糖を加へ、軟かくなる迄煮るのです。其の後醤油を加へ、暫らく煮てから蒸らして置きます。其はんぺんは適宜に切り、醤油砂糖、鰹節で味をつけ、一所に盛り合せるのです。かうして煮た八つ頭は中に甘味を含み、外側に鹽氣があつて、大層美味しくなります。

□**酒粕汁** 普通の味噌汁を拵へ、煮立つて其の實も煮えてから酒粕を細かに刻んで入れ、一旦攪廻して火から下します。實には野菜類を用ひます。かやうに酒粕は後から入れた方が、粕の香りが拔けないで好いものです。四人前に細かに刻んだ酒粕凡そ五勺位の割合でよい加減です。

□**ライスカレ**（四人前十六錢位）牛肉四半斤、玉葱二錢、馬鈴薯と胡蘿蔔は一錢宛、カレー粉茶匙二杯、饂飩粉大匙一杯の材料を整へます。肉は少さく切り、馬鈴薯、玉葱、胡蘿蔔はいづれも小さな賽の目に切ります。馬鈴薯丈けは水に浸けて灰汁をぬきます。別にフライ鍋にバタ或はラードを溶かし、肉を入れてよく炒つてから他の野菜三種を入れて一所に炒ります。次にカレー粉を交ぜこみ、次いで熱湯二合を加へて文火で一時間位煮、鹽を入れて鹽梅をします。別に饂飩粉を水に溶きかき交ぜながら流しこみ、一旦煮立てゝ直きに下ろして、鍋を下ろした後、茹卵を細かに刻み、其の上へ浮かすと一層味もよくなり、體裁もよくなります。

□**とろゝと青海苔**（四人前七錢位）佛掌薯五錢、青海苔二錢位の材料をさります。普通の煮出汁を拵へ、少し鹹目に鹽梅して冷まして置きます。別に薯を卸し、擂鉢でよく擂つて後、前の汁を少しづゝ入れて擂りながら延すのです。出來上つたら椀に盛り、青海苔を細かに揉んで其の上にかけて出すのです。



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

# ポプラの決心

あづま

美しい虹の神様はなか〳〵いたづらものです。

日の神様が大事にして居る黄金の壺を、何處かわからない處に隱してやらうと思ひました。そして何處に隱すが一番だらうかと考へ初めました。

何しろ日の神樣はどこでも照しますので都合よく隱す場處が見付かりません。やつとのことで丁度大きな森の下が眞暗で隱すには大そうよい處だと氣が付きました。

早速虹の神樣は森に出掛けて行きました。

森では木の仲間がお互に枝の張りつこをして、少しでも廣く自分の偉い事を見せてやらうとコンモリと繁つて居ました。

「アヽ此木が一番枝が多い、葉も澤山について居る、此木の下に隱すにかぎる」と一人言しながら、虹の神は日の神の大事な〳〵黄金の壺を隱くしました。

此木はポプラの木だつたのです。夜の事で木も山も日の神さへも、寢て居たときに、誰れも知るものはありませんでした。

次の日元氣のいゝ日の神が一番に眼を醒しまして、キラ〳〵笑つて照らし初めますと、今迄寢て居た森も川もだん〳〵と起きて來ました。小鳥は枝から枝へ歌ひながら飛び初めました。暗らかつた世界があかるくなりました。



日の神樣はいつものやうに黄金の壺をだして遊ぼうと蓋をとつて見ると、中はからです。虹の神のいたづらとは知りませんから、キット誰かとつたものにちがひないと思ひました。そこで山から谷になりひゞく大聲で「黄金の壺をかくしたやつは誰だ？ 早く言はないと承知しない」

と申ましたが、誰れも知らない事ですから、知らぬ〳〵と云ひました。

日の神は益々怒つてとう〳〵森に向つて無理を言ひました。

「キット森の木が隱したにちがひない、コンモリとおひかぶさつた枝の下がどうもあやしい、木といふ木は皆其枝を天に向つてあけてごらん」

森の木々は無理な注文だとは思ひましたが、自分の正直を知らせるために枝をふるつて天高くさしあげました。



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

可愛想に、何にも知らないポプラが其枝をあげるとき、カチンと音がして、黄金の壺がころがりました。

日の神はすぐにそれを見付けました。そしてポプラをさん〲いぢめました。ポプラが何と言譯しても日の神はきゝ入れませんでした。他の木は自分でなくてよかつたと云ふ風をして、可愛想なポプラをながめて居ました。

此事があつてから後、ポプラは決して〱自分の枝を地の方へ向つてのばさなくなりました。どの枝も幹にならつて眞直に天に向つてのびました。

ポプラは此時に次のやうに考へたのだそうです。

「自分が惡い事をしなくても、ほかのものに惡い事をさせるやうな風をする事は、誰れよりも自分が一番困ることだ」といふ事だつたのです。

成程ポプラの木はどれも〱箒のやうに枝といふ枝が天に向つてのびてゐますものネ。

## 子供の智慧

### ◎繪ハガキの様だ

君子ちやん(六つ)のお母さんがお風邪を召して寢てゐますので、お父さんが箒を持つて掃除をして居りますと、君子ちやんは面白さうに眺めて居りましたが、何か思ひついたらしく『母ちやん、丁度銀座の繪ハガキの様だわね』と申しました。君子ちやんは銀座の繪ハガキ屋の店頭で見た「女天下」の繪を思ひ出したのです。

### ◎光つた銀貨

勇さん(六つ)は小父さんから眞新らしい五十錢銀貨をお土産に貰ひますと、早速大事さうに母さんの處に持つて來て「これを銀行に預ける時、間違はない様につて、よく云つて下さい」と申しました。

### ◎電車で火事が來る

末ちやん(五つ)は、或朝の事、半鐘のチャン〱鳴るのに目を醒すと、「恐い〱」と泣き出しました。「火事は遠いから大丈夫ですよ」と云ふお母さんに、しつかり抱きついて「でも、火事が電車で來るんだもの……」

### ◎上つても下つても

秀ちやんは(八つ)一年生ですが「僕は兄さんのやうに大きくなつて、試驗したら一つ番が上ると五十錢、また一つ上ると五十錢貰つて、それを蓄めて置いて飛行機を買うんだ」と云つて居るので兄さんは「もし番が下つたらどうするんだ」と尋ねると「そうしたらおつりを貰ふからいゝや」と澄して居ります。

### □讀者より

主婦の手帳欄よりメリンスの風呂敷利用法のいかにも巧みな御考案を早速拜借して實行致して見ました。年々御年玉の風呂敷の中より、濃い紫地に白線で大浪小浪を表した大右出流行のメリンス地のを、二枚ごり、十七八の娘の裏地に近い絞りの銘仙の着物に裾廻しと袖口としてつけましたが、素晴しいものが出來ました。なか〱買物の風呂敷が進化したものだなど、は同じものを持つて入らしやる方にさへ一寸判りませんくらいでございます。まことに結構な御教へ深く感謝致して居ります。このお教へにより更らに風呂敷の一隅に模様のあるところを、丁度前後に出る様に致し、胴ぬきの長襦袢をつくりましたが、これらなか〱立派なものが出來ました。これに四枚の風呂敷を要します。

（横濱　高木すゞ）





Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

世界名女傳

# 墺太利皇后
# マリヤ・テレサ（一）

### △敬虔貞淑の權化

敬虔貞淑の女性として知られた墺太利の皇后マリヤ・テレサは一千七百十六年五月十三日に生れた。カールス六世の女である。一人の兄があつたが、若くして亡くなつたので、テレサは王位の繼承者となつた。カールスの皇后はこの王女の教育に心を專らにされた。宗教歴史其他の學術に就て、それ〴〵專門の學者を選んで、王女の心の開發を努められた。テレサは早く其の優秀なる才能を示した。十六歳の時、父王と共にポーランド王選擧の重要會議に列席して、父王の椅子の側に坐つて、有名なる政治家連の名論卓説を聽いた。各自其の意見を吐いて、テレサの順番になると、父王は、「テレサよ、御身の意見はいかに」と言はれたので、テレサは其の想ふ所を諮つた。其の立論の正確と見識の高いのには、居合はす政治家は舌を捲いて驚嘆したといふ。

### △正義と仁愛

テレサがタスカニー大公と婚して間もなく、カールス六世は崩ぜられたので、テレサは廿四歳にして悲哀の裡に王位を繼いだ。テレテが國家を統治する標語となしたのは、「正氣と仁愛」であつた。治政の其の始めに於て、先づ貧民を恤み、貴族達にも勸めて慈善を行はせた。其故に人民は天使の降臨のやうにテレサを崇め敬んだ。カールス六世は皇室費を餘り多く費うので批難されてゐたが、テレサは早速それを改めて、帝室の威嚴にかゝはらぬだけに節約を行つた。

テレサは其の夫を愛し、これを尊敬した。自分は王位繼承者として夫よりも一段高い所に居ることを心に憂へ、夫には自分と對當の地位を與へた。かくてテレサの王位は極めて堅固な基礎に置れて、内外共に其の治政を讃美するに至つた。

### △女性の涙

テレサの治世は極めて多事であつた。

十六

列國との關係が極めて複雜してゐた。テレサは佛國と兵を交ゆるために、ハンガリーと同盟したが、ハンガリー人は深くこの女王を愛した。女王がハンガリー人の集會の中央に現はれた時には、彼等は皆等しく其の劍を高く擧げて、聲の續くかぎり「我等は女王マリヤ・テレサのために死せん」と叫んだ。

テレサは深く感動して、眼には美はしい涙の玉が浮んだ。女の涙、殊に崇敬せられる女王の涙がどれほどの影響を男子の心に與へたかは贅するまでもない。

### △急ぎ持ち歸れ

テレサは種々な事情からボヘミヤの女王の名義をも保つことになつた。其時ボヘミヤの王カールス七世からテレサの即位式に就て抗議の使者が來た。テレサは其の使者に對して、笑つて自分の即位記念の金貨を與へ、「其の主君に急ぎこれを持ち歸りて見せよ」と命じた。溢るゝ如き其の才氣はいかにも面白い。



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

# 全譯 何處へゆく（四）

松本雲舟

## 浴場の四

「その女が奴隷なら買つたらどうぢや」

「奴隷ではありません。」

「ではなんぢや、プラウチウスの自由を得させた女でもあるのか」

「始めから奴隷ではないですから、自由を得させられたのでもありません」

「それなら、何んぢや」

「よく解らんですが、王の姫君か、それに似よつたものでせう」

「ヴイニチウス、妙な事を申すな」

「まあ、お聽き下さい、妙ぢやありません。大して長い話でもありませんから。スエヴイ王のヴンニウスを能く御存じでしたな。自分の國から追はれて、長く羅馬に住んでゐましたでせう。博奕に運が好つて、馬車競爭が上手だといふので評判でしたでせう。皇帝ドルススがヴンニウスの王位を回復してやりなすつた。所が中々役に立つ人なので、能く政治をなし戰にも勝つて、次第に其の近隣を征服して、スエヴイ王の位置を安固にしました。所が、その甥にあたるヘルムンドリ王ヴイビリウスの息子のヴンギオとシドーがヴンニウスを羅馬に追ひかへさうと決心したでせう。博奕の運ためしに」

「私も覺へてゐる。それほど古い事ではないから、クラウヂウスの時代であつた」

「さうです。そこで戰爭になりましたが、ヴンニウスは可愛がつてゐる甥のヤジギイに援兵を求めたところが、その甥はヴンニウスの富を聽いて、分捕物も澤山にあらうかと、リジア人に味方をしました。實際ヴンニウスはクラウヂウス・シーザアが國境の安全を怖れたほど莫大な富を持つてゐたさうですからな。クラウヂウスは外國の戰爭に捲き添へされぬやうに、ダニユーブ軍團の司令官アテリウス・ヒステルに書を送つて、戰爭の經過をよく氣をつけて、羅馬領の平和を紊されぬやうに命令しました。そこでヒステルはリジア人に掛け合つて國境を越すことはならぬといつてやつたところが、人質を寄越しましたが、その中には大將ヴンニウスの娘もあつたのです。蠻族は戰爭に妻や子供を連れてゆくことは御存じでせう。私のリジアはその大將の娘です」

「何處でそんな事を習つたのか」

「アウルス・プラウチウスが話しました。實際リジア人は國境を越えなかつたさうです。蠻族といふものは暴風の如く來り、暴風の如く去るさうですが、頭に野牛の角をつけたリジア人も恰度同じやうに去つたのでせう。スエヴイ軍とヤッギー軍をヴンニウスは集めたが、遂に身は殺されたので、蠻兵は分捕物を持つて消え去つてしまふ。其人質はヒステルの下に殘つたのですが、母親は間もなく亡くなり、娘の方は處置に困つて、ヒステルから獨逸全體を治めてゐたポムポニウスに送つたのです。カッチとの戰が終ると、ポムポニウスは羅馬に歸つて來ました。御存





Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

じのやうに、クラウヂウスはポムポニウスに凱旋をさせましたのです。その時その娘は凱旋將軍の馬車の後を歩かせられたのですが、人質は捕虜ではないといふので、ポムポニウスも直きに娘の處置に困つてしまつたものですから、その妹にあたるプラウチウスの妻ポムポニア・グレシナに與へました。この家では主人から庭の雛鷄まで善良ですが、玆でその娘は生ひ立つたのです。德の高いところはグレシナそつくりで、美しさはポッペアなど、秋の無花果とヘスペリデスの林檎のやうに、とても比較になりません」

「それから、どうした」

「もう一度申せば、私は旭日の光がその身體に透き通るやうに輝いたその時から、その娘に戀ひ焦れてしまつたのです」

「すると、その娘は海のヤツメウナギか、若い鰮魚のやうに、透き通るのぢやな」

「戲談ぢやありません、叔父さん。私が赤裸に想つてゐることを話すものだから、そんな戲談も出るでせうが、兎角光つた衣物は深い傷を隱すものぢやないですか。白狀しますが、私は亞細亞から還つて來て、一夜をモプススの神殿に籠つて、睡眠中に示現を受けやうとしましたよ。私が睡つてゐると、モプススの神が現はれて、戀は私の生涯に大變化を來すと言はれました」

「なんでもプリニーは神々は信せねが、夢は信ずると言つたさうぢや。それが眞實かも知れん。戲談は言ふもの丶、私も唯一と柱の神の存在することは、折々考へではないよ。永遠にして全能に、靈魂を結びつけるのも、身體を結びつけるのもその造主さ。それは戀の神ぢや。混沌から世界を作つたのも戀の業ぢや。その働きの立派かどうかは別問題として、若しさうであるなら、有難くは思はぬまでも、是非共その力を認めてやらずばなるまい」

「あ丶、叔父さん、相談に乘つてくれないで、哲學の講釋ですか」

「お前さんは一體どうしたいのぢや」

「私はリジャが欲しいのです。私のこの兩手は今は空氣を抱いてゐるに過ぎませんが、リジャを捕まへて、かうして抱へて見たいのです。リジャの呼吸を吸つて見たいのです。リジャが奴隸なら、アウルスに初めて賣りに出された徵證に、白髮のやうに足の白い娘を百人やつても、リジャを連れて來て、冬のソクラテ山の頂のやうに頭の白くなる迄一緒に暮したいのです」

十八

「奴隸でなくとも、プラウチウスの家の者なら、兩親に棄てられたからには、まあ、養女といふ格ぢやらうから、プラウチウスが呉れる氣なら、お前さんに呉れることが出來るだらう」

「あなたはポムポニア・グレシナを御存じないと見えますな。自分の娘のやうに育て丶ゐるのですぜ」

「私はやうポムポニアを知つてゐる。ほんとうのサイプレスの樹ぢや。アウルスの妻でなければ、泣き女にでも雇れるぢやらう。ユリヤが死んでから喪服を脱かぬ相ぢやな。要するに、生きながら、シャグマ百合を撒いた草場に彷うてゐる樣な女ぢや。おまけに一人の夫しか持たない女ぢや—澤山の離婚女の内のホエニクス(靈鳥)さな。それはさうとホエニクスは實際上部エヂプトに現はれたさうぢや、五百年に一度位しかないとぢやが」

「叔父さん、叔父さん、ホエニクスの事は又別に伺ひませう—


Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

# 時事

●**御講書始**　十四日午前十時鳳凰の間に於て御講書始を行はせられ順次左記進講を聽召されたり。

▲和書　萬葉集第二十上卷大伴宿禰家持喩族歌一首并短歌
　進講者東京帝國大學文科大學教授　文學博士　芳賀矢一

▲洋書　佛國民法編纂即ちナポレオン第一世の法典編纂事業
　進講者東京帝國大學名譽教授　法學博士　富井政章

▲漢書　書經尙書「咸有一德」第一節
　正五位勳五等　土屋弘

●**國賓御動靜**　露國太公ゲオルギー殿下には十二日御着京後、十三日には天皇陛下の御訪問を受けさせられ、十四日は駿河台ニコライ會堂に御成り露暦元旦の祭典に御臺臨、十五日は濱離宮鴨獵の御興あり後前田侯爵邸に御成り同家の古美術品を御覽あり、十六日日光へ赴かれ自然人工の美を賞で給ひ十七日御歸京、十八日は軍器品製造の實況を御實見の爲め砲兵工廠等を御巡覽相成り十九日は鎌倉江ノ島を御見物相成りたり尙太公殿下には東京市長が誠意ある歡迎と獻納品に對し深謝の意を市民に通せられたしとの意を寄せられ金二千圓を同市慈善救濟金の一部にとて御贈與相成りたり。

●**宮中歌御會始**　天皇陛下には十八日午前十時鳳凰の間に出御御踐祚後第二次御會始の御式を行はせられたり御製、御歌、皇后殿下御歌左の如し

寄國祝

御製

とし〳〵にわか日本のさかゆくも
　いそしむ民のあれはなりけり

皇后宮御歌

神風の伊勢のはまをきまねかねと
　したひよるらしよもの國々

天地とともにさかゆくすめ國は
　とつくに人もあふきまつらむ
　大勳位依仁親王妃勳一等　周子

ちはやふる神代なからに日のもとの
　國のさかえは限しらす
　臨時神宮祭主勳一等　多嘉王

年立ちていはふもうれし大君の
　しりそめたまふ國のさかえを
　勳一等稔彦王妃勳一等　聰子内親王

年ことにひろくなりゆくあし原の
　瑞穗の國のさかえをそ思ふ
　勳一等成久王妃勳一等　房子内親王

いにしへにみおやの神のまもります
　大日のもとの國にゆるかす
　大勳位恒久王妃勳一等　昌子内親王

●**預選歌六首**　詠進歌總數は二萬千九百四十九にして御前に於て預選歌に擧げられ披講の光榮を有せし六首左の如し

富山縣高田市横田町尋常小學校長　小林守直上
みめくみのいたらぬくまもなかりけり
　國のさかえにましに君さし

東京府士族理學博士德永重康妻　元子上
おほやしま國のはしめの遠けれは
　さかゆく末にかきりしられて

鹿兒島縣士族　新納時守上
しろしめす君かみくにとなりしより
　さりの林も神はしるらむ

長崎縣士族　片山菅雄上
よもの海皆はらからとならむ後
　おやと仰かむ國はこのくに

奈良縣平民　北朴木ひさゑ上
臣となり民とならはと外國の
　人のうらやむうらやすの國

山形縣平民　本多成允上
たつさわくおさは千里のほかにして
　波しつかなるうらやすのくに

●**光榮ある二女歌人**　預選歌に擧げられし理學博士早稻田工手學校長德永重康氏夫人元子(三〇)の君は和歌の趣味に豐かなる故藥學博士柴田承桂氏の令孃にして歌道を井上通泰博士に學びたる人。曩に學習院卒業の翌年雪中松の勅題にて一竹むらは雪にうもれて老松のひさしも高く見ゆる庭かな」と詠進して選外の榮を得たる事ありと。また奈良縣生駒郡北生駒村大字萊畑なる北朴木ひさゑ子は奈良女學校在學中大桑いよ子に歌を學びたるのみなるが同夫人は日々の日記をも歌ばかりにて書ける程詠歌を樂しめりと云ふ。

●**支那帝制と動亂經過**　雲南貴州の支那革命軍は其勢益々增大し侮るべからざるものあり袁世凱政府の猖獗一方ならず日本政府は斷然たる態度にて帝制不承認に出づる事疑ふ餘地なければ或種の利權を喚はして其承認を求めんと農工商部總長周自齊氏を御大典祝賀の名儀を以て特派すべき旨政府に提議ありたるも我政府は都合に依り十五日其來朝無期延期を申込みたれば支那政府も特派を延期せり。

●**ウエルタ氏逝去**　メキシコ前大統領ウエルタ氏は十三日夜エルパソの自邸に於て逝去せり享年七十二。

●**遣外教講班歸朝**　英國派遣班は本月十五日既に歸朝し、遣露班は四月中、遣佛班は六月中歸朝すべしと。

●**中等教員有資格者**　中等學校教員は年々有資格者の增加を示し兩三年ならずして需給相央ばするに至るべきか本年度に於ける高師其他各官立無試驗檢定學校卒業生は總數五百二十六名にして前年度に比し五名增なしと、猶女子の分を示せば左の如し。

▲東京女子高等師範學校(百九名)文科(一、二部共三十五名)理科(同三十八名)技藝科(同三十五名)選科一名)(以上三十圓乃至三十五圓)

▲奈良女子高等師範學校(六十九名)國語漢文(二十八名)地理歷史(十名)數物化學(十三名)博物家事(二十六名)(以上三十圓乃至三十五圓)同校研究科(二名)(以上未定)

▲第六臨時教員養成所(委託生四十六名)家事科(四十六名)(以上三十圓乃至三十五圓)

## 女學校だより

△第二高等女學校　去る一月八日より女子の專門學校入學受驗者募集中、





Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

△上野高等女學校　二月上旬成績品展覧會を催す由。
△女子美術學校　内部の組織變更に就き十八日午後二時より保證人會を催したり。
△東京女子高師　四月入學せしむべき生徒の試驗を十三日より開始したり。

## 個人消息

▲ミスマグドナルド（前青年會總幹事）十五日加奈太より再び來朝せられ目下女子英學塾内ミスハツフオン宅に滯在中。
▲松本久子（鐵舟氏夫人）、祭れて病氣中の處病勢俄かに加はり十八日大學病院に入院手術を受け經過良好なりと。
▲松崎悅子（法學博士夫人）國府津より十日歸京
▲柳八重子　此の程より村井吉兵衛氏夫人の傳記執筆中、尚二十一日京都へ赴けり。
▲齋藤鐵子　中野母堂老衰にて大崎自邸に引籠り中なりしが十六日逝けり、享年八十九

## 編輯室より

▲雲舟山は夫人の病重く、非常に御心配且御多忙中ですが「何處へゆく」の稿を賜らしては愛讀者に對し申譯がないと、大いに努力して居られます▲十九日の朗らかな春めいた午後、工學博士夫人田中芳子様が編輯室に御來訪、種々快談せられました。そして御歸りがけには第二號で紹介された「母の文庫」を讀まれたいと古びた「女有職孝文庫」を持つてゆかれました。博士夫人は稀有の研究的頭腦を持つて居られ、衣食住の改良に力を致されて居りますが、十數年前から實行されてゐると云ふ絽縮かされぎの木綿の裏を見せられました。こう云ふ事は知つてゐても却々實行されぬのが習ひであるに、同夫人の如き實行家の有るのは喜ばしい事だと思はれました。


# 人事相談所

□本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に惱める男女に同情し、精神上、生活上、職業上其他有らゆる相談に應じ、無料にて最も善き解決を與へます。但し費用を要する御相談は實費を申受けます。

□本所は絶對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財産調査、男女學生品行調査、裁判上の據證調査等の御依頼に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります。但しこれには依頼者が至當と想はれる程の低廉な調査料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい。面會時間は日曜を除くの外午後零時より、午後四時迄です。

東京牛込區市ケ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社内（電話番町四五六六番）

人事相談所



◉婦人週報定價（毎週金曜發行）

| | | |
|---|---|---|
| 壹部 | 金五錢（但し郵送料五厘を含む） | |
| 一月 | 金貳拾錢（四部又は五部） | |
| 三月 | 金六拾錢（十三部） | |
| 半年 | 金壹圓拾錢（廿六部） | |
| 一年 | 金貳圓貳拾錢（五十二部） | |

◉本誌廣告料

| | |
|---|---|
| 特等（表紙の二、四） | 金參拾圓 |
| 壹等（表紙の三、白紙前付） | 金貳拾五圓 |
| 貳等（色紙の表側） | 金貳拾貳圓 |
| 參等（色紙の内側） | 金貳拾圓 |

注意

▲御註文は一切前金の事▲郵券代用は必ず一割増の事▲送金の爲替宛名は東京市牛込區市ケ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌發送を以て領收書に代ふ

發行兼編輯人　小橋三四子
東京市京橋區銀座四丁目一番地
印刷人　小橋三四子
印刷所　福音印刷合資會社東京支店
東京市牛込區市谷田町二丁目十七番地
發行所　婦人週報社
振替口座東京三一六六〇番
電話番町四五六六番


Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

院長診察月、水、木、金午前
林、峰間兩副長は目下當院に在勤
麹町區三番町三十番地（市ケ見附内）
電、番六二番
**東洋内科醫院**
院長 醫學士 **高田畊安**
電話ちがさき二番
**南湖院**
相州茅ケ崎海濱（從停車場半里）
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察土曜日午後、入院診察後應需

婦人週報讀者に限り
**特價提供!!**
**シンガーミシン會社製造の家庭用ミシン**
體裁優美にして和服裁縫刺繍に最も適す
**新式ミシン**
キャビネット型及び客室用裝飾になる
種類及定價表の目錄御望みの方は婦人週報社へ直接御申込を乞ふ
**婦人週報社代理部**

◎**産婦人科**◎**小兒科**
宅診午前 往診午後
病室、産室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ
院長 **女醫 吉岡彌生**
東京市麹町區飯田町四丁目卅一番地
**東京至誠病院**
電話番町二二五七

**入院應求**
院長ドクトル 淺田繁太郎
**淺田小兒科醫院**
芝區田村町十六
（電話芝三二七番）

あかくはれ、くづれていたむのがすぐなほる
■**しもやけの藥**■
陸軍常用 **石樟膏**
毎年の大好評故是非御試しあれ
藥價 金十錢 送料 金二錢
（三錢郵券四枚封入御申込あれば直ちに發送）
小石川區高田老松町十七番地
製造發賣 **目白藥局**
振替東京三一六九二

古本 **專門買入**
小石川區大塚
御報參堂 **山加書店**

**産科、婦人科、小兒科**
東京府内藤新宿番衆町卅一番地
女醫 **井出茂代**
電話番町三六七七番

**齒科**
ドクトル **富田貞一**
電話浪花五四〇五
日本橋區高砂町六
（久松町停留場より西一丁）

**眼科一般**
診察時間毎日午前午後
入院設備アリ
**吉野眼科院**
小石川區高田豐川町
（女子大學校前）

◎**小兒科**
◎**内科**
小石川區高田老松町十二（細川侯邸前）
千葉醫學士 **清水榮**



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

村雲日榮尼下題辭

熊田葦城居士著

天覽 訂正縮刷

# 日蓮上人

燦爛虹の如き光彩を放ちたる、報知紙上の大文字。

出版界裡の大快著。日蓮傳中の最大權威。今や縮刷盛裝して復た新に出づ。

澎湃潮の如き喝采を博したる

ポケット形。卷頭寫眞廿二頁。總紙數六百六十頁

總皮金三方 携帶便利

壹圓廿錢 郵稅八錢

發行所 東京牛込新見附 良書刊行會 振替七六六七四番

發賣 東京神田 誠文堂 東京堂

主筆 別所梅之助

# 護教

▼毎週 金曜日發行▲

見本贈呈

▼定價

一部 四錢五厘（郵稅共）

三ヶ月 五十五錢（同）

一ヶ年二圓（同）

▼本誌は明治二十四年の創刊に係り、日本基督教會三大機關紙の一つなり。

## 本誌の内容

▲社說は時事問題其他の眞摯なる主張にして▲講壇には内外名士の名論卓說を載す。又▲研究及び▲文苑は諸般の眞面目なる論究にして▲信仰之友にあつては美しき信仰生活の反映を見るべし。其他▲難錄▲家庭の諸欄ありて趣味と教訓とを兼ね、信徒、求道者及び一般修養に志す者の好伴侶、好手引たり。尚全國一般の教勢を知るに便す▲本誌の編輯は別所梅之助・倉長巍・石坂龜治其他の敎氏是に當り▲寄稿家には、平岩愃保・高木壬太郎・山田寅之助・山鹿旗之進・吉岡彦一・舟橋雄・釘宮辰生・三浦泰一郎の諸氏ありて之を助く▼

護教附錄

# 傳道

▲毎月一回、第一金曜日發行の護教に附錄さして添ふ。

▲されど、附錄のみの注文（但十部以上）に應ず。定價左の如し。

定價（郵稅共）

| | |
|---|---|
| 十部 | 十二錢 |
| 廿五部 | 二十五錢 |
| 五十部 | 四十五錢 |
| 百部 | 八十錢 |
| 二百部 | 一圓四十五錢 |
| 三百部 | 二圓 |
| 五百部 | 三圓 |
| 一千部 | 五圓五十錢 |

▼傳道は四頁の月刊附錄にして、平易なる神學、信仰實驗談、及聖書の簡易なる講義等、内容に富み、趣味を兼ね、求道者及び傳道用として眞に好適なるものなり。

今回豫想以上の部數を出だすに至りしを以て、紙質を改めると同時に定價を減じたり。

東京赤坂區青山南町五丁目四十五番地

發行所 護教社

電話芝四六七九番・振替東京二五六九



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA